

「最ゆうしゅう賞は、…こばと修童館です。」と言われた時は、びっくりしました。最初は、「ちがう賞かな？」と思っていたけれど、本当に、最ゆうしゅう賞だったので、「すごい。」と思いました。たぶん、一人一人が、がんばっていたからなのかな？と思いました。私は、自分の苦手なところを、直したので、よかったです。

今年は、しつかり、賞をとれたので、来年も続けて、次の人達に、しつかりつなげて行きたいと思いました。

わたしの青少年武徳祭

こばと修童館 小学五年 向 杏奈

わたしは、本番の前練習のことをおもいだして復習していました。本番になり、練習どおりにいっしょうけんめいがんばりました。自分の中では、もうすこしががんばれたなと思っていました。それに、少しほんいあいの三本目を、まちがってしまったので、ゆう勝できるかしんぱいでした。

それからさいしよは、はじめてで、いくかいかないか、まよってしまつて、でも、わたしはお母さんに「ゆう勝できなくても、じつりよくをみせれば、そんでじゅうぶんだよ」と言われて、わたしは、五年間いあいをならつていたので、ここでみせるときだと思つたことと、初だんをとるための練習になるかなと思つたからです。それにいき

かつた理由は、京都にもいつてみたかつたからです。いつてみてのかんそうは、まずは、だんたいゆう勝をとれたことで、自分ではゆう勝できるとは思つてもいなかつたので、すごくうれしかつたです。それから、いつてよかつたなと思ひました。

こばと修童館(小)初V

全国青少年武徳祭団体

二十日に京都市左京区の大宮で、十七歳以下の区の武徳殿が開かれた。全国青少年武徳祭の団体で、小松市上小松町の居合道場「こばと修童館」チームが初めて優勝を果たした。青少年武徳祭は、居合道、空手、合気道など伝統武道の技を競う大会で、十七歳以下の区の武徳殿が開かれた。全国青少年武徳祭の団体で、小松市上小松町の居合道場「こばと修童館」チームが初めて優勝を果たした。

査員が採点した。

大会には、一週間前に小松市内で合宿を実施して臨んだ。これまでの最高成績だった準優勝を越えて初優勝を果たし、特に優れた個人賞には同館から四人が選ばれた。

中田武太郎(まな)は「いいところまでいくと思つていたがまさか優勝するとは。今年のチームは協調性が高い」とたたえた。

(谷大平)

◇個人賞の皆さん(数字は学年) 優秀賞 東谷信之介(芦城小6)▽奨励賞 柴田悠希(能美小5)▽努力賞 山崎皓大(第一小6) 沢村奏太(稚松小5)



団体で初優勝を果たしたこばと修童館の選手たち(京都市左京区で) (こばと修童館提供)